

【重要なお知らせ】

はじめに

この「Q & A 集」は、[公益社団法人日本ブライダル文化振興協会](#)（以下 B I A）より発表された結婚式場業「**新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン**」のほか、**厚生労働省発表の『新しい生活様式』**などを基に、お客様をコロナウイルス感染のリスクから守るために作成したものです。「これさえ守れば感染しない」というものではございませんが、状況が刻々と変わり、情報が溢れているなか、皆様が冷静なご判断をされる上でご参考になればと思います。皆様には安心感を得ていただけるご宴会、パーティーが実現できることを心より願っております。

ご宴会を開催する場合に考えられること

Q1 ご宴会を実施する際に、参加人数を絞ることで感染リスクを減らすことはできますか？

参加人数を絞った場合、“その場に感染者が存在する可能性が減少する”、“一人当たりの空間を広く取ることが可能になる”という観点から、感染リスクを減らすことができると考えられます。また『三密』を回避させるという視点から、[厚生労働省の発表](#)によるビル管理法の考え方に基づく**必要換気量（一人あたり毎時 30 m³）が確保できている、ということがひとつのポイントになります。**

※ザ マグリットの機械換気による毎時 30 m³の換気量が確保される各会場の収容人数は以下の通りです。

6F リバティー・ペントハウス ……	80 名
5F クラブ・モーガン ……………	97 名
4F ジョルジェット・マリ……………	30 名
2F ザ・マグリットホールⅡ ……	96 名

※但し、Q2 に記載の自然換気を含めるとさらに収容人数を増やすことが可能です。

Q2 『密閉』を回避するために、各会場の換気はどのような対策がありますか？

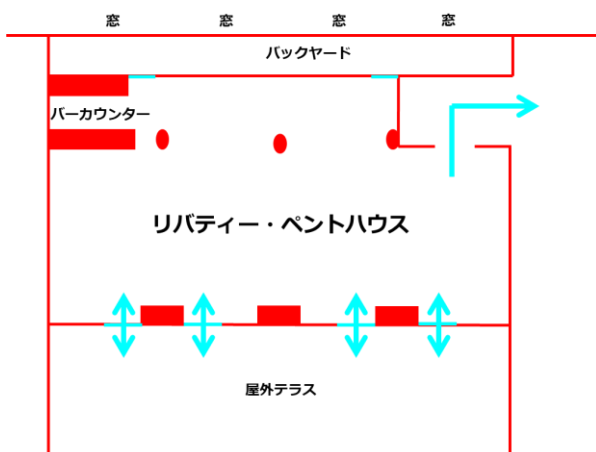
厚生労働省の発表によると、[感染予防策として「窓の開放による方法」](#)が有効とされており、換気回数は『30 分に一回以上、数分間程度、窓を全開する。』ことが推奨されています。（※換気回数とは、部屋の中の空気がすべて外気と入れ替わる回数を言う。）

各会場の 30 分当たりの換気回転数

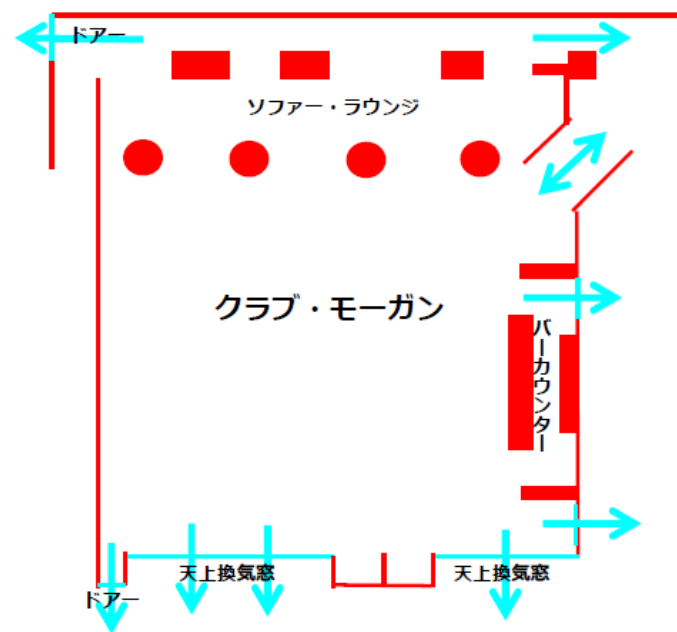
6F リバティー・ペントハウス …… 2.46 回転(約 13 分ですべて外気と入れ替わります)
5F クラブ・モーガン …………… 1.57 回転(約 20 分ですべて外気と入れ替わります)
4F ジョルジェット・マリ……………3.89 回転 (約 8 分ですべて外気と入れ替わります)
2F ザ・マグリットホールⅡ………… 2.46 回転(約 13 分ですべて外気と入れ替わります)

仮に参加者のなかに感染された方がいたとしまして、感染しうる環境下（いわゆる『密閉』状態）に他人が存在している場合、時間が長いほど、感染のリスクは上昇することが考えられます。ご宴会時間の極端な短縮は難しい場合が多いため、**時間を短くすることによる効果だけではなく、「感染しにくい環境をつくること」に注力するのが望ましいと考えます。**その「感染しにくい環境をつくること」のひとつとして、換気は有効だと考えられます。**ザ マグリットでは、どの会場でも機械による換気のほか、ホール周囲に窓が多く、自然換気を行うことが可能となっています。**以下は、各会場の換気状況の図になります。

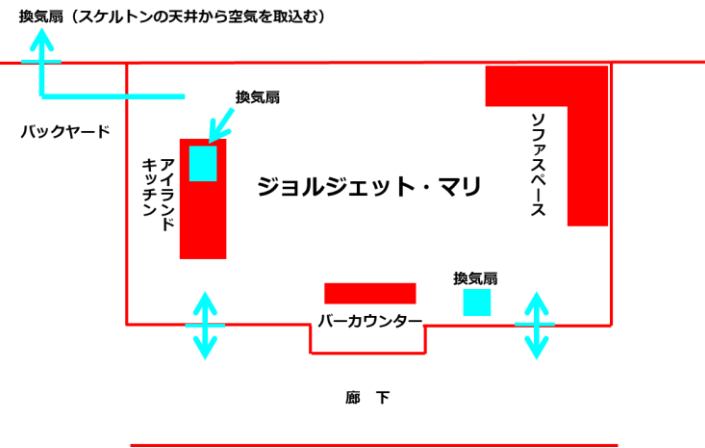
6F リバティー・ペントハウス



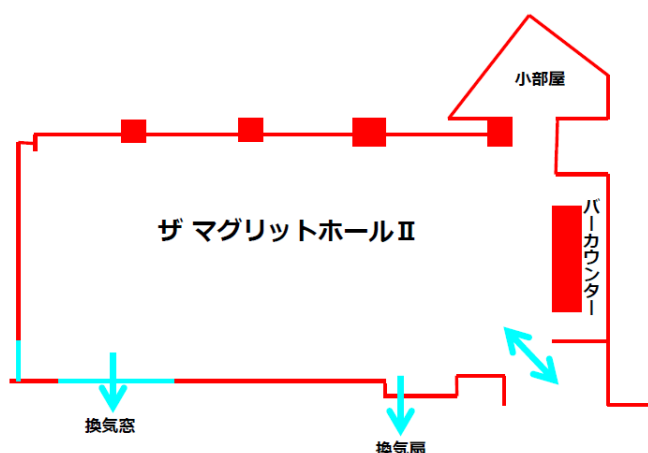
5F クラブ・モーガン



4F ジョルジェット・マリ



2F ザ マグリットホールⅡ



Q3 『密接』『密集』を回避させるために、どのような工夫がありますか？

B I Aが作成したガイドラインによると、参加者は、隣席との十分な間隔を開けること、出来るだけ広めの会場を手配し、席の間隔は、飛沫感染が防げる十分な間隔を開けることを推奨しています。

Q4 館内にアルコール消毒剤がありますが、どの程度の効力があり、頻度はどの程度行えばいいのでしょうか？

世界保健機関の手指衛生ガイドラインによると、アルコールによる手指消毒を正しく行えば、ほとんどの微生物（ウイルスを含む）を除去できるとされています。正しく行うことが重要であるとともに、アルコール消毒は、それまで手に付着していたウイルスを不活性化する効果はあっても、揮発性が高く効果が持続しません。よって何時間に一回ではなく、汚れた可能性がある度にその都度消毒されることをお勧めしています。新型コロナウイルスだけではなく、他の病原体を近づけないという視点でも、不特定多数の人が触れるものに触れた後、お手洗いの後、食事の前、など効果がより期待できる場面で円滑に消毒が行えるよう館内各所にアルコール消毒を設置しておりますのでご利用ください。また不特定多数の人が触れるもの（ドアノブ、椅子、テーブル、エレベーターのボタンなど）は、使用前後、消毒専用スタッフが定期的に消毒を行っています。



Q5 調理過程で感染する可能性がありますか？

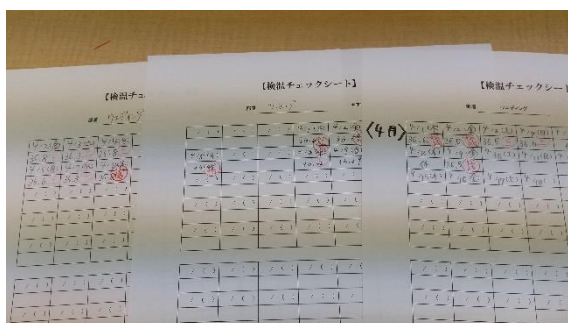
厚生労働省によると「2020年5月1日現在、食品（生で喫食する野菜・果実や鮮魚介類を含む。）を介して新型コロナウイルス感染症に感染したとされる事例は報告されていません。製造、流通、調理、販売等の各段階で、**食品取扱者の体調管理やこまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒、咳エチケットなど、通常の食中毒予防のために**行っている一般的な衛生管理が実施されていれば心配する必要はございません。マグリットでは、調理に携わるスタッフ全員が、始業前の体調確認、検温、アルコール消毒、マスクの着用、手袋の着用（頻繁に取り換えています）を厳守して調理を行っており、キッチン内は、次亜塩素酸ナトリウムを使用した徹底した清掃を行っています。



Q6 スタッフが作業従事時点で自覚のない無症状病原保持者がいた場合、感染する可能性がありますか？

厚生労働省による無症状病原体保持者に関する記載は、「通常、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合、**症状が最も強く表れる時期に、他者へウイルスを感染させる可能性が最も高くなるとされています。**従いまして、可能性は低いとみられるものの、新型コロナウイルスについては、まだ十分に解明されていないこともあるため、一般的な感染症対策や健康管理を心掛けてください。」とされています。スタッフの健康管理を厳密

に行い、感染が疑わしい者は業務に関与させないことと、マスクや手指衛生の徹底により、無症状のスタッフからの感染リスクを低下させることに努めています。ザ マグリットではB I Aのガイドラインに従い、スタッフ及びご宴会に係わる関連スタッフは、始業前及び実務開始前の検温、体調確認を徹底し、体調不良者については、他者と接することの無いよう配慮し、自宅で静養させる等の措置をとること、始業前及び実務開始前に手洗い又は手指消毒を徹底すること、ユニフォームについては、こまめに洗濯を行い、清潔に保つことを厳守しております。



社員検温チェックシート



社員通用口にて消毒の実施

参加される方について

Q7 ご宴会の参加を控えた方がよい場合は、どのようなときでしょうか？

B I Aのガイドラインには、「新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合、発熱や風邪の症状のある場合には、参加はご遠慮いただくよう、事前にご案内すること。なお、来場者に発熱等の症状がみられる場合、検温等を行い、来場を制限する場合もある。」としています。ザ マグリットもこのガイドラインに従い、ご参加される皆様に幹事様からご案内していただくことを推奨しています。

Q8 参加者は常にマスクを着用した方がよいでしょうか？

[厚生労働省の発表](#)によると、「マスクは、咳やくしゃみによる飛沫及び、それらに含まれるウイルス等病原体の飛散を防ぐ上で高い効果を持ちます。咳やくしゃみなどの症状のある人は積極的にマスクを着用することが望ましいでしょう。ご自身の予防用にマスクを着用することは、混みあった場所、特に屋内や乗り物など換気が不十分な場所では一つの感染予防策と考えられますが、屋外などでは、相当混みあっていない限り、マスクを着用することによる予防効果はあまり認められていません。」と提言しています。BIAのガイドラインには「参加者の来場時には、検温の実施、マスクの着用を求め、ロビー等においては、常にマスクを着用してもらうこと、お食事直前までマスクを着用し、会話を控えてもらうこと。」とされています。ご宴会に携わる全てのスタッフにマスクと手袋の着用を義務付けております。



玄関入口にて検温検査、消毒の実施



各エレベータ出入口に消毒剤の設置

Q9 ご宴会から帰ってからやるべきことはありますか？

普段の生活の中で外出から帰宅した場合と同様ですが、30秒以上の手洗いやうがい、洗顔、シャワー、着替えなどを行うことで、もし外出先で身体にウイルスが付着していたとしても、付着物からの感染のリスクを減らすことが可能です。

2021年4月10現在